

令和7年度実施内容について

1 知ろう（情報・理解）

1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備
<p><市の取組></p> <p>●対象者（世代、登録対象者等）に合わせた周知方法の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野城市芸術文化情報サイトツナグト（以下、「サイト」という）周知を絡めた取組の検討、実施 ・サイトPR動画の配信場所、方法の検討、実施
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (2) -① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>3- (2) -② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実</p> <p>4- (1) -① 芸術分野がつながる活動の推進</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p> <p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p> <p>5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●対象者（世代、登録対象者等）に合わせた周知方法の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツナグト登録者であるアーティストに情報発信メールの送付。 （送付内容） 「ツナグトのイベント登録方法」の紹介 「公民館おためし活用事業」の周知 「芸術文化ワークショップ体験講座」の周知 ・各事業やまどかフェスティバルでのチラシ配布、まどか文化祭、ジュニアときめき文化祭等の文化連盟事業でのアーティスト紹介も兼ねたツナグトの周知を実施。 ・PR動画については、昨年同様の配信場所に留まった。（各サイネージや市ホームページ等）
課題及び次年度以降の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、登録者へのメール配信を除き、まどかびあへのポップの設置など新たな周知方法を検討したが、施設との兼ね合いが合わず、実施することができなかった。今後は、レポーターページなど多方面からサイトを周知するとともに、次年度まどかびあが開館30周年をむかえ、様々な事業を実施することから、そこでの周知、PRを積極的に行っていく。
1- (1) -② 芸術文化に関する情報内容の充実
<p><市の取組></p> <p>●プッシュ型情報発信（インスタグラム）方法の活用検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なインスタグラムの発信方法を検討、実施し、フォロワーの増加につなげる。
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (2) -① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p> <p>5- (1) -③ 芸術文化の活動場所の把握</p>

結果
<p><市の取組></p> <p>●プッシュ型情報発信（インスタグラム）方法の活用検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まどかフェスティバルの「絵本とダンス」や、レポーター養成講座、市民ワークショップなどツナグトにイベント情報として掲載したのち、イベント終了後にその様子を投稿した。 ・それぞれの事業ごとにターゲットとなりうる層に個別にチラシの配布や情報発信を実施した。少数ではあったが、狙っていた層の参加もいただけた。 ・事業実施中にインスタグラムにて情報を発信するなど、伝える情報の多さやバリエーションを増やす取組を実施した。 ・インスタグラムの閲覧状況については【補足資料1】参照。
課題及び次年度以降の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムに添付するポスター等については、実施内容や意図がよりわかりやすく伝わるものとなるようデザインや文章作成におけるスキルを高める。 ・プッシュ型の発信として、インスタグラムの特性を理解し、イベント情報やアーティスト登録情報に限らず、事業の様子や参加者の感想、アーティストの人となりが見えるような魅力的な投稿ができるよう工夫する。

1- (2) -① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出
<p><市の取組></p> <p>●インスタグラム機能を用いた魅力的な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画投稿機能を活用した発信 ・サイト登録アーティストが投稿する仕組みの検討、周知 <p>●多様な方法での実施事業の取組の紹介（アプローチ方法の多様化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップで作成した「ラジオドラマ作品展」実施（ふるさと館、コミュニティセンター） ・サイトのオンライン展覧会機能を活用した取組の発信（参加者の声や写真での発信） <p>●ツナグトレポーター制度の実施</p>
<p><まどかびあ取組></p> <p>●鑑賞型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊ファミリーコンサート ・ティertimeコンサート
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備</p> <p>1- (1) -② 芸術文化に関する情報内容の充実</p> <p>2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>2- (1) -② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●インスタグラム機能を用いた魅力的な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画投稿機能を活用した発信は1件にとどまった。 ・インスタグラムにてアーティストを紹介する際に、アーティスト自身に写真の使用の可否を伺う機能をサイトに構築した。

●多様な方法での実施事業の取組の紹介（アプローチ方法の多様化）

- ・市民ワークショップで作成した「ラジオドラマ作品展」を今年度4月に心のふるさと館にて実施した。
- ・サイトのオンライン展覧会機能を活用した取組の発信。
- ・広報大野城におけるトピックスページを用いた事業報告の掲載。



〈心のふるさと館でのラジオドラマ作品展の様子〉

●ツナグトレポーター制度の実施

- 開始日 令和7年11月1日より取材開始
- レポーター数 6名（昨年度の講座参加者9名）
- 開始までの流れ

- ・「大野城市芸術文化情報ウェブサイトレポーター設置要領」制定
- ・受講生への事前周知、意向確認

○活動について

- ・今年2月（予定）からツナグトレポーターページへの掲載開始。
→掲載に際しては、ウェブサイト保守業者所属のライターへの添削及び取材対象者の掲載許可伺いの実施

○編集会議の実施

- ・10月、2月に実施
- ・第1回編集会議ではレポーターの顔合わせ、取材先の希望調査、改めてツナグトレポーターについての説明を行った。第2回では、アイズブレイクのためのワークショップや掲載記事の振り返りなどを行う予定。



〈ツナグサイト上のレポートページ〉

<まどかびあの取組>

●鑑賞型事業

- ・上記掲載のまどかびあ事業は全て実施。

課題及び次年度以降の方針

- ・市民ワークショップで作成した「ラジオドラマ作品展」を次年度も心のふるさと館、コミュニティセンターで実施予定。その他ラジオドラマ音源の配信ができる場所を検討する。
- ・サイト構築に伴い、インスタグラム投稿の幅が広がったため、視覚的にもより魅力のある投稿を心掛けたい。
- ・サイト登録アーティストが動画を投稿する仕組みは案の検討に留まり、具体的な方法を決定できていない。次年度は仕組みとして、整理し、実行したい。
- ・レポーター養成講座からレポーターの活動にスムーズに移行できるように開催時期を検討。
- ・レポーターとしての活動の中でモチベーションやスキルアップを目指す目的で編集会議の1回はゲスト講師を招くなど工夫したい。

2 行こう（参加）

2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり

<市の取組>

●身近な芸術文化活動を知ってもらう機会の創出

- ・ツナグトップページやオンライン展覧会機能を活用した市内の芸術文化活動情報の発信

●「芸術文化ワークショップ体験講座」実施

<まどかびあの取組>

●参加型事業

- ・障がい者向け鑑賞サポート事業（バリアフリーコンサート）

<関連する実行プラン>

- 1- (2) -① 芸術文化の魅力伝える機会の創出
- 2- (1) -② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出
- 3- (1) -① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成
- 3- (2) -① 芸術文化活動を支える人材の育成
- 3- (2) -② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実
- 4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実
- 4- (2) -② 芸術文化の他分野への活用
- 5- (1) -③ 芸術文化の活動場所の把握

結果

<市の取組>

●身近な芸術文化活動を知ってもらう機会の創出

- ・ツナグサイトのトップページの写真を3～4か月に1回更新し、市内の芸術文化活動情報の発信を行っている。今年度は新たに、コミュニティセンターでのアート活動の様子を紹介した。
- ・オンライン展覧会機能を利用し、ツナグトレポーター養成講座、市民ワークショップ、芸術文化ワークショップ体験講座の実施レポートを投稿予定。（記事作成中）

●「芸術文化ワークショップ体験講座」実施

- ・【補足資料2】参照。

<まどかびあの取組>

●参加型事業

- ・障がい者向け鑑賞サポート事業である「五感に響け！真夏のバリアフリーコンサート」実施。

課題及び次年度以降の方針

- ・より様々な市の芸術文化活動を紹介できるように、ツナグ登録アーティストにも協力を仰ぐなど、方針を検討する。
- ・「芸術文化ワークショップ体験講座」については、【補足資料2】参照。

2- (1) -② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出
<p><市の取組></p> <p>●市民向けワークショップ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターにて、ワークショップ「わたしが知ってる大野城のはなし」実施 ・まどかフェスティバルにおける親子向けワークショップ「絵本とダンス」実施（予定） <p><まどかびあの取組></p> <p>●鑑賞型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音のわコンサート (Vol.6) ・音楽コンサート ・バリアフリーコンサート ・まどかびあシネマランド ・三遊亭圓歌独演会 ・版画ビエンナーレ関連企画 ・アウトリーチ事業 ・インリーチ事業（狂言鑑賞） ・友の会会員優待事業
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (2) -① 芸術文化の魅力伝える機会の創出</p> <p>2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む。）への支援</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p> <p>5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●市民向けワークショップ実施【補足資料3】参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北コミュニティセンターにて、市民ワークショップ「おしゃべりワークショップ～わたしが知ってる大野城のはなし 北地区の巻～」を実施。 ・まどかフェスティバルにおいて読書×芸術文化イベント「おやかでたのしむからだあそび 絵本とダンス」実施。 <p><まどかびあの取組></p> <p>●鑑賞型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記掲載のまどかびあ事業は全て実施または実施予定。 ・音楽コンサートは「アロージャズオーケストラでお届けする渡辺真知子&サーカス昭和100年時代！時代を彩る名曲コンサート」を実施。 ・音のわコンサートは「岡本知高リサイタル」を実施予定。
課題及び次年度以降の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・【補足資料3】参照。

3 育てよう（育成・養成）

3- (1) -① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成
<p><市の取組></p> <p>●多様なジャンルに触れる機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化連盟子ども文化交流事業補助金を活用した取組（8月：木工製作、2月：こども藍染体験） →文化連盟所属の団体・個人が講師を担当（文化連盟のもつ「人材」「技術」を活かした内容） 文化連盟紹介の機会 ・ランドセルクラブでの芸術文化ワークショップ実施（3- (1) -②「ファシリテーター養成に関するフォローアップ機会の提供」の一環として実施） <p><まどかびあの取組></p> <p>●参加型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスクリニック I Nまどかびあ（2回） ・子ども向けワークショップ（メディアアート）
<p><関連する実行プラン></p> <p>2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む。）への支援</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p> <p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p> <p>5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p> <p>5- (1) -③ 芸術文化の活動場所の把握</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●多様なジャンルに触れる機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化連盟子ども文化交流事業補助金を活用した取組 →8月に「夏のわくわく木工クラフト教室」を実施。2月中旬に「こども藍染体験」を実施予定。 →事業実施の際に、広報紙面上に講師のツナグトアーティストページリンクを掲載。その期間中、講師ページの閲覧数が上昇するなどアクセス数にも影響があった。 ・ランドセルクラブでの芸術文化ワークショップ実施。 →大城小学校ランドセルクラブにてワークショップを1月26日に実施。 ※昨年度ファシリテーター養成事業の中で、ランドセルクラブにて実施したところ、関係者からの評判も良く、今年度のフォローアップ事業の対象場所とした。 <p><まどかびあの取組></p> <p>●参加型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記掲載のまどかびあ事業は全て実施または実施予定。
課題及び次年度以降の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化交流事業について、事業内容を決める際に全体のスケジュール感を実施団体である文化連盟に事前に話しておくなど引き続き連携を図る。 ・子ども向けの取組は、幼少期、児童期の体験の機会を増やすことから今後も継続していきたい。

3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体含む）への支援
<p><市の取組></p> <p>●ファシリテーター養成に関するフォローアップ機会の提供</p> <p>●アーティスト、活動団体向け支援情報の収集、周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まどかびあや市、コミュニティセンター等で、アーティストが利用可能な各種情報を収集し、収集した情報をツナグト登録アーティスト等に周知する。 <p><まどかびあ取組></p> <p>●教育普及型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援三団体定期演奏会 ・芸術助成事業（前年度採択事業実施、次年度事業募集）
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備</p> <p>1- (1) -② 芸術文化に関する情報内容の充実</p> <p>1- (2) -① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出</p> <p>2- (1) -② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出</p> <p>3- (1) -① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成</p> <p>3- (2) -① 芸術文化活動を支える人材の育成</p> <p>4- (1) -① 芸術分野がつながる活動の推進</p> <p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p> <p>5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p> <p>5- (1) -③ 芸術文化の活動場所の把握</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●ファシリテーター養成に関するフォローアップ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 7名（昨年「つくりながら考える実践講座 わたしの表現をワークショップにする」受講生11名） ・活動内容 <p>①コミュニティ文化課主催事業でのアシスタント参加</p> <p>当日の参加だけでなく、事業の事前打合せや振り返りなどに広く参加。参加者の中に加わりながら、ワークショップを様々な面から見て、知ってもらうことを目的とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップ「おしゃべりワークショップ私知ってる大野城のはなし」（10月） →事前打ち合わせやワークショップ後のラジオドラマ編集作業などに参加。 ・芸術文化ワークショップ体験講座「わたしの表現をワークショップにする」（12月） →アシスタントとして参加すると共に、一部ワークの説明などを実施。 ・大城小学校ランドセルクラブでのワークショップ（1月） →1月26日実施。ワークショッププログラム構成の協議から参加。 <p>②フォローアップ事業実践ワークショップの実施</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ事業参加者の実践の場として、ワークショップを実施。アシスタントとして学んだことを通して、自分たちが行いたいワークショップを実践する場とする。 ・ワークショップを組み立てる際に気を付けることなど、講師（昨年度の同事業講師である古賀今日子氏）に助言をいただきながら、検討を進めている。 ・コミュニティ文化課は、伴走者の役割を担い、全体のペース調整や講師とのやりとりを行っている。
<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント名「大人の時間×こどもの時間 お互いに表現を楽しみつながる 遊び場ワークショップ（仮）」 ・日時 令和8年3月22日（日）10時30分～ ・内容 親子対象のワークショップ。子どもと大人は別室で、それぞれを対象者とし、ワークショップを実施。フォローアップ受講生は半分に分かれる。大人には自分の話を自由にできる時間を、子どもには、普段接しない大人である受講生と一緒に楽しめるような内容とする。 ・内容を設定した理由 「いつもと違うことをしたいけど、それにリーチできない人に向けて、楽しめるワークショップを作りたい」との思いより、大人が子どもを気にせず楽しむ時間を提供することを目的とし設定した。
<p>●アーティスト、活動団体向け支援情報の収集、周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツナグト登録方法と公民館お試し活用事業について、メールでの周知を実施。
<p><まどかびあ取組></p> <p>●教育普及型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援三団体定期公演実施済み。 ・芸術助成事業（前年度採択事業実施、次年度事業募集）の「あなたがプロデューサー」については、今年度採択なしのため、見直しを行い次年度に募集予定。
課題及び次年度以降の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ事業が今年度からの取組ということもあり、市も進め方や関わり方を模索しながら進めている。次年度以降は、今年度の実施結果を踏まえ、目的と照らし合わせて取組の内容や方法を検討する。

3- (2) -① 芸術文化活動を支える人材の育成
<p><市の取組></p> <p>●レポーター養成講座やアーティストの活動に関するフォローアップの取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を通して、市の文化施策に関わる人を増やす。
<p><関連する実行プラン></p> <p>2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人が地域と関わる機会の充実</p>

5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築
5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援
結果
<市の取組> ●レポーター養成講座やアーティストの活動に関するフォローアップの取組の実施 ・レポーター養成講座については、【補足資料4】参照。 ・フォローアップの取組の実施については、実行プラン3- (1) -②に記載。
課題及び次年度以降の方針
・【補足資料4】参照。


3- (2) -② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実
<市の取組> ●サイトを中心とした担い手と受け手をつなぐネットワークの構築（相談機能の検討） ●各種相談対応 ●サイト登録アーティストと市内の活動団体をつなぐ仕組みづくり ・市内各団体へのサイトの活用方法の紹介 ・登録アーティストとつながるに至るまでの課題の調査、把握 ・サイト登録アーティスト情報の紹介（インスタグラム、市の事業等） <まどかびあの取組> ●参加型事業 ・チャレンジステージ <関連する実行プラン> 1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備 2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり 4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実 4- (2) -② 芸術文化の他分野への活用
結果
<市の取組> ●サイトを中心とした担い手と受け手をつなぐネットワークの構築（相談機能の検討）【補足資料7】 ・補足資料7にある各事業が本格的に動き出し、それぞれの事業で出会った人が別の場所で出会う、また昨年度の参加者と今年度の参加者の交流の機会を作り、新たな出会いを創出するなど、事業を通じた交流は進めることができた。 ・サイトに基づいた交流会の実施（実行プラン4- (1) -①にて後述） ●各種相談対応 ・アーティストや習い事などを探す市民や、活動場所を探すアーティストから問い合わせが数件あった。情報と共にツナグトを紹介した。また、アーティストについては、ランドセルクラブをはじめ、アーティストを求めている部署につなげることができた。 ●サイト登録アーティストと市内の活動団体をつなぐ仕組みづくり

・登録アーティストと繋がるに至るまでの課題の調査、把握については、区や地域に関わる人との関わりの中で一部ではあるが知ることができた。コミュニティ文化課が様々な情報を周知している対象者と、内部でイベント等の企画をしている人は異なっており、情報が伝わっていなかった。 ・現在、アーティストは登録をしてコミュニティ文化課は承認をするというだけの関係になっていることから、ツナグトサイトを知ってもらい、またコミュニティ文化課がアーティストを知るために今年度の3月にツナグト交流会を実施する。 ・3月上旬に実施予定の「ツナグト交流会」にてアーティストと市内の活動団体の両者に参加を募り、交流する場を設ける予定としている。（詳細は実行プラン4- (1) -①にて説明） ・サイト登録アーティスト情報の紹介については、実行プラン1- (1) -②、実行プラン1- (2) -①、でも説明したように、インスタグラムや事業を通じたアーティストの紹介は実施した。
<まどかびあの取組> ●参加型事業 ・上記記載の「チャレンジステージ」は2回実施済み。
課題及び次年度以降の方針
・各団体でイベント等の企画をしている人など、より情報を活用してほしい人に情報が届くように周知方法を検討すべきである。 ・サイト登録アーティスト情報の紹介については、アーティストの活動の様子がより届くような内容を投稿できるように検討する。 ・交流会やツナグト利用アンケート等を実施し、直接意見を伺い、ニーズに合わせた取組を検討する。

4 つながろう（連携・融合）

4- (1) -① 芸術分野がつながる活動の推進
<p><市の取組></p> <p>●サイトを介した交流会の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツナグトに登録している「アーティスト」「活動場所（まどかびあ、公民館等）」「レポーター」等を中心に交流を図る場の提供。（内容は今後検討） <p><関連する実行プラン></p> <p>1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p> <p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●サイトを介した交流会の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流会の目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ツナグトを設立した意図や目的を知ってもらう ・参加者同士の交流 ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・講師の坂口麻衣子氏をお呼びし、ワークショップ形態で実施。 ○日時 <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年3月11日（水）10時～12時 ○対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・ツナグト登録アーティスト、市内で活動しているアーティスト、レポーター ・本交流会に興味がある方 ・活動団体の職員（公民館の企画担当者、大野城まどかびあ、にぎわいづくり協議会、社会福祉協議会、ユーブレ職員など）
課題及び次年度以降の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も実施予定。内容は今年度の実施結果をもとに検討したい。

4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実
<p><市の取組></p> <p>●芸術文化を通じた社会参加の機会を生み出すための取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者アートと企業との連携の機会の検討など <p><関連する実行プラン></p> <p>1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備</p> <p>1- (2) -① 芸術文化の魅力伝える機会の創出</p> <p>2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>2- (1) -② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出</p> <p>3- (1) -① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成</p>

3- (2) -① 芸術文化活動を支える人材の育成
4- (1) -① 芸術分野がつながる活動の推進
4- (2) -② 芸術文化の他分野への活用
5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援
結果
<p>●芸術文化を通じた社会参加の機会を生み出すための取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年1月20日から2月2日大野城心のふるさと館ジョーホールにて実施。 ・福岡県と協力し、「まごころアート FUKUOKA GALLERY 展覧会 in 大野城」を開催。福岡県が実施する障がい者アートのレンタル事業において、大野城市に関わりのあるアーティストも多く作品登録されていることから、市民だけでなく、市内事業所にも知っていただくために実施。 ・周知については、他事業での周知方法のほか、大野城市商工会に協力をいただき、市内の事業所へ周知した。 
課題及び次年度以降の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も他自治体との協力も考えながらこのような機会を設けたい。また、その他の方法で芸術文化を介した社会とのつながりを増やすための取組を検討する。

4- (2) -② 芸術文化の他分野への活用
<p><市の取組></p> <p>●職員向け研修の実施（連携会議委員含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の考え方をすることで、芸術文化が「身近なもの」と知ってもらいきっかけとする。講座では、芸術文化を用いたワークショップの体験も含めながら実施し、各課、関係団体の取組や日頃の業務等で活かせるよう、前向きに考えてもらえるような内容とする。 ・研修を受けての気づきや考えたこと、活かそうな点などを連携会議内で共有する。また、その内容を見やすい形に取りまとめ、連携会議各課でフィードバックしてもらうよう働きかける。 <p>●他分野（福祉、教育、商工業等）への芸術文化に関する取組の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化体験ワークショップ開催情報の周知（様々な分野への啓発） <p><関連する実行プラン></p> <p>2- (1) -① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>3- (2) -② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p>
結果
<p><市の取組></p> <p>●職員向け研修の実施（連携会議委員含む）</p>

<p>・「芸術文化に関する職員研修」の実施。（【補足資料5】参照）</p> <p>●他分野（福祉、教育、商工業等）への芸術文化に関する取組の周知</p> <p>・福祉施設、公民館、学校、幼稚園、ボランティア団体、他市の文化施設への事業周知。これまで周知していなかった層へ事業周知するとともに、本市の取組を説明する時間をもらいお話をさせていただいた。</p>
<p>課題及び次年度以降の方針</p>
<p>・職員研修については、【補足資料5】にて記載。</p> <p>・他分野（福祉、教育、商工業）への芸術文化に関する取組の周知については、引き続き足を運んで周知する。</p>

5 活かそう（資源活用）

<p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p>
<p><市の取組></p> <p>●個人・団体の情報収集</p> <p>・サイト登録者を増やすための取組の実施</p> <p>●サイト登録アーティストと市内の活動団体をつなぐ仕組みづくり</p> <p>・市内各団体へのサイトの活用方法の紹介</p> <p>・登録アーティストとつながるに至るまでの課題の調査、把握</p> <p>・サイト登録アーティスト情報の紹介（インスタグラム、市の事業等）</p>
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備</p> <p>1- (1) -② 芸術文化に関する情報内容の充実</p> <p>3- (1) -① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>3- (2) -① 芸術文化活動を支える人材の育成</p> <p>4- (1) -① 芸術分野がつながる活動の推進</p> <p>5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p>
<p>結果</p>
<p><市の取組></p> <p>●個人・団体の情報収集</p> <p>・市主催事業や文化連盟事業での周知や広報紙等での情報発信。</p> <p>●サイト登録アーティストと市内の活動団体をつなぐ仕組みづくり</p> <p>・実行プラン3- (2) -②にて併せて説明。</p>
<p>課題及び次年度以降の方針</p>
<p>・ツナグト登録者を増やすための新たなアプローチの検討をする。</p>

<p>5- (1) -② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p>
<p><市の取組></p> <p>●「大野城心のふるさと館」を活用したイベントの実施支援</p>
<p><関連する実行プラン></p> <p>1- (1) -① 芸術文化活動情報発信の基盤整備</p> <p>2- (1) -② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出</p> <p>3- (1) -① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成</p> <p>3- (1) -② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>3- (2) -① 芸術文化活動を支える人材の育成</p> <p>4- (2) -① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実</p> <p>5- (1) -① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築</p> <p>5- (1) -③ 芸術文化の活動場所の把握</p>

結果
<p><市の取組></p> <p>●「大野城心のふるさと館」を活用したイベントの実施支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野城心のふるさと館にて実施。（【補足資料6】参照）
5-（1）-③ 芸術文化の活動場所の把握
<p><市の取組></p> <p>●活動場所の収集とサイトへの掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所情報の収集 ・インスタグラムでの情報提供におけるPRの実施
<p><関連する実行プラン></p> <p>1-（1）-② 芸術文化に関する情報内容の充実</p> <p>2-（1）-① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり</p> <p>3-（1）-① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成</p> <p>3-（1）-② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む）への支援</p> <p>5-（1）-② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援</p>
結果
<p>●活動場所の収集とサイトへの掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の場所の周知や場所の募集など今年度は実施できていない。残りの期間で、実施できるものは行うこととする。
課題及び次年度以降の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動場所については、まどかびあや各施設にも協力を仰ぎ、利用してもらえるようなPRの方法を検討する。